

事前審査シート

大項目	中項目	該当項目	重要度	番号	小項目	対応状況	根拠資料	適否判定		
I	受検受付	受検案内の告知		◎	1	受検案内の告知がHP掲載等のインターネットやポスター・ちらし等紙媒体で、試験日・時間・検定料金等の告知が行われている				
				○	2	受検しやすいように複数の種類の受検申し込み方法がある				
				○	3	受検手続きなどについての外部からの問い合わせのための電話・メール等の連絡先が告知されている				
			該	○	4	各級やレベル・種別がある場合は、それぞれにどのような知識・技能を測るかという目的や試験日数・時間等・検定料金が明確に告知され、試験の受け方などが分かりやすく説明されている。				
			該	△	5	受検希望者に対し1ヶ月以上の出願期間が設けられている、特に対象が学校の場合は学校事情を考慮に入れた出願期間になっている				
			該	○	6	障害者に対して障害の種類に応じた特別措置の準備があることを告知している				
	②	受検申し込み業務		○	7	受検受付の処理を手順通りに行っている				
				○	8	受検受付の申し込み期間を遵守している				
	③	受検者本人確認書類		◎	9	受検票・本人確認書類への本人顔写真貼付等の指示を的確に行っている				
II	会場選定・準備	①		○	10	天災時、不測の事態時の避難経路の確保が出来ている				
				○	11	会場には非常時の避難のための非常口などが整備されており、分かりやすい表示があることを確認している				
				○	12	会場の耐震性などの安全性を確認している				
		②	会場へのアクセス		○	13	試験会場への案内経路は受検票等に地図を記載するなど受検者に分かりやすくなっている			
					△	14	最寄り駅・最寄りバス停からの徒歩時間は15分以内を基準として、会場を選定している			
					△	15	受検者数に応じて最寄り駅の改札増やバス便増の必要性の確認は出来ている			
	③	会場の適正性		○	16	十分なスペースが確保され、騒音・照明・室温などが当該試験実施運営に適していることが確認されている				
				○	17	会場施設が試験実施に適した設備や必要な環境を備えている				
				△	18	車両や自転車等の使用を認めている会場では、十分な駐車場・駐輪場のスペースを確保し、使用の許可を得ている				
	④	発送		◎	19	試験実施前の決められた日に指定した場所に試験資材が送られている体制ができています				
	⑤	障害者対応	該	【障害者への特別措置を設ける場合】	○	20	車椅子用スロープは設置されている			
					○	21	エレベータの使用は可能である			
○					22	車椅子受検が可能な構造になっている(廊下・教室内・トイレ等)				
○					23	点字ブロックの設置がある				
III	受検会場設定	①	受検会場の割り振り		◎	24	消防法上の定員を守るなど、各会場の収容許容数に合った受検者数が配分されている			
					○	25	申し込みの際に希望する地域の受検会場が選択できる			
					○	26	希望した受検会場が定員オーバーの場合には近隣の会場が指定できる。			
					△	27	指定会場変更の場合のルールがあり、的確に運用されている			
	②	障害者への配慮	該	【障害者への特別措置を設ける場合】	◎	28	募集段階で障害のある受検者の受検に関して、受検可能な障害の種類・程度についての規定を明記しており、特別措置申請があった受検者に対し、障害の種類・程度に配慮した会場指定・時間指定がされている			
	IV	実施担当者の選定	①	実施責任者の選定	該	◎	29	試験実施会場には必ず実施責任者と実施責任者補佐の2名を配置し、当該会場の受検者個人との縁故関係や利害関係がない人を選定している		
					該	○	30	外部団体に委託している場合においては、各試験実施会場に実施責任者を配置し、当該会場の受検者個人との縁故関係や利害関係がない人を選定している		
					◎	31	実施責任者に対して研修が実施されている			
					○	32	実施責任者補佐に対して実施責任者と同等の研修が実施されている			
					◎	33	実施責任者と機密保持及び実施運営に関する誓約書を交わしている			
					◎	34	実施責任者補佐と機密保持及び実施運営に関する誓約書を交わしている			
②			運営スタッフの選定		◎	35	運営スタッフは当該会場の受検者個人との縁故関係や利害関係がない人を選定している			
					○	36	実施マニュアルの徹底を図るため、試験実施日以前に運営スタッフを集め、試験当日の業務を円滑に遂行するための事前研修を行っている			
					◎	37	過去の実施運営に基づいた基準で算出された試験実施に必要な人数の運営スタッフを確保している			
					○	38	運営スタッフと機密保持及び実施運営に関する誓約書を交わしている			
				③	面接官の選定	該	◎	39	面接官は担当会場の受検者との間に縁故関係や利害関係がない人を選定している	
該	◎	40	面接官の評価統一のためのトレーニングを行い、模擬面接試験などのテストに合格している							
該	○	41	当該団体内に面接官に対する資格制度を備えている							
該	○	42	面接官の名簿は非公開となっている							
	該	○	43	面接試験の内容を録音し、その評価の精度を事後に確認している						
V	運営マニュアルの内容	①	運営スタッフの管理		○	44	実施マニュアルは、実施責任者用と運営スタッフの各担当業務運営用の2種類以上を作成している			
					○	45	実施マニュアルの内容について第三者の評価を受けている			
					△	46	試験運営関係者の服装等身だしなみや受検者への言動などに関してマニュアルに定められている			
		該	◎	47	リスニング試験がある場合には、受検者から聞き取りに不公平が出ないように、リスニング途中の騒音の対応についてのルールが細部（教室の窓が全て閉じられている、飛行機、ヘリコプター、ごみ収集車などへの対応、スマホの音が出た場合の対応）					
		②	不測の事態への対応		○	48	不審者に対する対応（警備員配置等の準備）は出来ている			
					○	49	不測の事態に対応するための警察への連絡手順は出来ている			
				○	50	天災等の影響で本部が実施不可能と判断した場合、受検者に対しての告知準備は出来ている				
				◎	51	試験中の天災等の非常事態に対して、受検者・関係者が避難するための誘導体制が出来ている				
		○	52	悪天候の場合なども試験に支障が無い対応策が出来ている						
		該	○	53	試験実施中に実施責任者への報告事項が発生した場合（受検者の体調不良と本人が残りたいたいといった場合の対応、トイレ退室と連れ出す方法、イヤホン等を落とした場合の対応）、その対応と報告する方法がマニュアルに規定されている					
			○	54	体調不良などで途中退席した場合の試験結果に対するルールが定められている					

事前審査シート

大項目	中項目	該当項目	重要度	番号	小項目	対応状況	根拠資料	適否判定	
VI	①	新型コロナウイルス感染症対策事前措置							
		事前のリスク評価	◎	55	主な感染経路である①飛沫感染、②接触感染のそれぞれについて、受検者や試験運営関係者の動線や接触等を考慮した試験会場のリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策について検討し、受検者や試験運営関係者に事前に周知徹底している				
		職場における感染症対策	◎	56	職場（試験運営関係者を含む）における感染拡大防止のため、以下の対策等を徹底する ・普段から健康観察アプリなどを活用し、毎日の健康状態を把握する ・体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養する職場ルールを徹底する。				
		職場での発症者対応	△	57	体調が悪い従業員が見いだされた場合、ガイドラインに沿って対応する				
		来場不可条件の明示	○	58	感染対応として、受験会場への来場を見合わせる条件（発熱・咳・体調不良、過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合等）を明確に				
		試験会場入場時の健康チェック	◎	59	試験会場入場時に受検者及び保護者に対して検温の実施など健康状態のチェックを行い、発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は会場への入場を制限する等の対応が定められている				
		受検制限時の払戻し処置	○	60	発症等により受検を制限した場合の払い戻し措置等が規定されている				
		受検者に発症者が出た場合の対応	◎	61	受検者に発症者が出た場合、発症者を速やかに別室に隔離して受検を中止して帰宅させ、部屋の換気を行うなど、具体的な対応が定められている				
		試験運営関係者に発症者が出た場合の対応	◎	62	試験運営関係者に発症者が出た場合、発症者を速やかに別室に隔離して試験運営業務を中止して帰宅させ、部屋の換気を行うなどの対応を定め、代わりにスタッフがその業務を行えるよう準備されている				
		試験会場で発症者が出た場合の対応準備	○	63	発症者が出た場合に備えて、あらかじめ所轄の保健所との連携体制が整えられ、また会場に発症者を隔離する部屋が確保されている				
		試験会場におけるソーシャルディスタンス確保	○	64	試験会場の定員を半分程度以下にするなど、人と人との距離（推奨2メートル、最低1メートル）が確保できるよう配慮している。 ただし、業種別新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを徹底し、その取り組みを公表されている場合は新たな目安（収容率及び人数上限の緩和）を適用すること				
		試験会場の換気状況の事前確認	○	65	試験会場ごとに、法令を遵守した換気を行っていることを事前に会場管理責任者と確認している				
		試験開催地域の感染状況確認	○	66	感染状況の変化等に応じて柔軟に対応できるよう、最新のイベント開催制限や都道府県の要請等を確認している				
		該 【昼食をとる必要がある検定試験の場合】	○	67	昼食をとる必要がある場合、場所を特定し、座席の間隔を空ける、必要な備品の消毒を実施するなど感染対策をしている				
		緊急連絡先の確認	○	68	緊急連絡先が記入された受検者名簿は1か月以上管理保管する、COCOA等の接触確認アプリの使用促進措置を講じるなど、感染者が出た場合の連絡・確認のための対応				
		試験会場入場時の健康チェック	◎	69	試験会場入場時に受検者及び保護者に対して検温の実施など健康状態のチェックを行い、発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は会場への入場を制限する等の対応を行っている				
		接触確認アプリの使用促進策	△	70	COCOA等の接触確認アプリの使用を促進する措置（試験会場内でも1m以内15分以上接触した可能性を検知するために、電源及びBluetoothをOnにしてマナーモード				
		手指の消毒の徹底	◎	71	受付や試験会場入り口などに消毒液を設置してこまめな手指の消毒を励行している				
		受付の飛沫感染防止対策	○	72	受付では、試験運営関係者が正しくマスクを着用する*だけでなく、アクリル板設置やフェイスガード装着等の対策をしている *鼻から顎まで覆い顔にフィットさせ隙間なく着用する（不織布マスク推奨）				
	混み合う場所でのソーシャルディスタンス確保	○	73	受付、トイレ等、受検者が混み合う場所ではフロアマーカーを設置するなど、密集を避ける対策をしている。また、行列ができた際には間隔（1m）を空けた整列を促すなど、受検生に対して密集を避けるよう指示をしている					
	該 【トイレにハンドドライヤーがある場合】	○	74	トイレにハンドドライヤーがある場合は使用禁止にしている					
	該 【エレベーターが使用可能な場合】	△	75	エレベーターの使用が可能な場合、エレベーター前には間隔を空けて並び、エレベーター内は人数を制限する等、密集を避ける対策をしている					
	入退場時の混雑回避	○	76	試験開始や終了時、休憩等の入室や退場時は時間をずらす等、密集を避ける対策をしている					
	試験会場の換気状況の確認	○	77	法令を遵守した空調設備の設置またはこまめな換気を行っている。また、エアコン使用時のサーキュレーター使用による換気や乾燥する場面では湿度40%以上を目安					
	該 【受検生に児童・生徒が多い場合】	△	78	保護者控室は密にならないよう必要なスペースが確保され、適切な換気が行われている					
	会場内の消毒の徹底	○	79	会場内はこまめに消毒されている					
	該 【PC等の機器等を共有使用する場合】	○	80	PC等の機器等を共有で使用する場合は、使用前後に消毒し、受検者に手洗いや消毒を徹底している					
	正しいマスク着用100%の担保	◎	81	試験運営担当者、受検者、保護者のマスク着用状況を確認し、着用していない場合、正しいマスクの着用でない場合は個別に注意等を行っている。マスクを持参していない受検者がいた場合は主催者側で不織布マスクを配布する					
	該 【面接試験を実施する場合】	○	82	面接試験の場合、正しいマスク着用に加えアクリル板の設置やフェイスガードの装着、インターネットを通じて非対面で行うなどの対策をしている					
	接触感染の防止	△	83	接触感染防止のため、試験問題など資料配布の際は手袋を装着する等の対策をしている					
	大声の防止	○	84	受検者に対して大声での会話を慎むよう促している					
	受検者に大きな声で指示する際の対応	○	85	試験運営関係者は受検者に対して大きな声で指示を出す際は、正しいマスクの着用に加えて、受検者と適切な距離を保つ等の対応をとる					
	試験実施中に発症者が出た場合の対応	◎	86	受検者及び試験運営関係者に発症者が出た場合、発症者を速やかに別室に隔離して帰宅させ、部屋の換気を行うなど事前に定められた対応を実施している					
	該 【昼食をとる必要がある検定試験の場合】	○	87	昼食は座席の間隔を空ける、必要な備品の消毒を実施するなど感染対策をしている特定の場所としてしている					
	ごみ処理の対応	△	88	試験運営関係者はごみ処理の際には必ずマスクと手袋を着用し、ゴミはビニール袋に入れて密封して縛り、処理後には必ず手洗いを徹底している					
	②	新型コロナウイルス感染症対策試験当日							

事前審査シート

大項目	中項目	該当項目	重要度	番号	小項目	対応状況	根拠資料	適否判定		
VII	試験当日	① 会場設営		○	89	トイレの数が受検者の男女比を考慮して適切に設置されている				
				○	90	送迎の車両の誘導のため、交通整理員や警備員配備の準備が出来ている				
				△	91	車両や自転車等の使用を認めている会場では、十分な駐車場・駐輪場のスペースを確保している				
				○	92	試験時間の運営は不利がないよう、交通機関トラブル等の不可抗力で遅れた受検者や体調不良の受検者のための予備教室が確保されている。				
				△	93	エレベーターの有無と使用の可否は確認している				
				△	94	実施責任者は試験運営関係者に集合場所についての明確な指示・案内をしている				
				△	95	前日までにできる会場設営や備品チェックを行っている				
				○	96	マニュアル通りに、実施責任者の指示に従って受付・試験教室等の会場設営が行われている				
			該	【別の種類の試験を同じ会場で実施する場合】	○	97	階段は受検前後の受検者が交わらずに移動出来るように複数ある			
			該	【受検生に児童・生徒が多い場合】	△	98	児童・生徒の受検者がいる場合、保護者控え室の確保は出来ている			
					◎	99	試験実施本部（試験運営関係者控え室）は施設が出来、打ち合わせ内容が外に漏れないようになっている			
					◎	100	試験問題等の機密資料を保管するための鍵がかかる部屋や金庫等がある			
					○	101	受付場所から受検教室までの移動について、受検者に分かりやすい導線の指示等がされている			
					○	102	試験終了後、混乱なく会場外へ退出する導線が確保されている			
					△	103	会場内立ち入り禁止箇所の明確化など、会場内の立て看板等の設置が適切に行われている			
				△	104	受付場所は集合時間に支障が出ないように入口から徒歩5分以内の場所に設置されている				
				○	105	受検者集合のピーク時の混雑に対応出来る受付体制となっている				
				△	106	実施責任者と実施責任者補佐は試験開始の2時間半前までに会場に到着している				
		② 受付開始までの準備			○	107	実施責任者以外の運営スタッフは試験開始2時間前に指定の場所に全員集まっている			
					○	108	責任者を含む全ての試験運営関係者は受検者にそれを証明する腕章等を身につけている			
					◎	109	実施責任者から運営スタッフへ業務遂行に関する共通理解を図る説明がなされている			
					△	110	実施責任者から運営スタッフへマニュアルに定められている服装等みだしなみ、受検者への言動等に関して指導している			
					◎	111	試験を遂行するにあたり実施責任者と担当業務の運営スタッフとの緊急連絡体制が確立し、共有されている			
					◎	112	試験運営関係者全員の所持する時計の時刻が統一されており、会場の時計が示す時刻との確認がされている			
					○	113	試験終了後の受検者に対する注意事項告知の準備ができています。			
					○	114	試験会場の見取図を作り有効に活用している			
					○	115	トイレの案内は男女ともに矢印表示等で解りやすくなっている			
					△	116	会場入口から受付までの導線の確保は出来ており、案内板や案内担当員の配置がされている			
					○	117	受付から受検者の控え室または試験教室まで案内板や案内担当員の配置がされている			
					○	118	会場出口までの案内担当員の配置はされている			
			該	【受検生に児童・生徒が多い場合】	△	119	保護者待機の十分なスペースの控え室に対応するスタッフが配置されている			
			③ 試験運営			◎	120	会場の当日受検者数は試験体制で予定している該当数以内になっている		
						○	121	1教室あたりの受検者数は、教室ごとに設定されている試験を行う場合の人数以内になっている		
					◎	122	試験教室の防音性は廊下と隣接教室の音が入らないレベルになっている			
					○	123	試験教室内の机・椅子の大きさは試験の受検者の体型に適している			
					◎	124	長机使用の場合の座席は不正行為防止のため最低一人おきに設定してある			
					◎	125	階段教室使用の場合は不正行為防止のための座席設定（左右は最低一人置き、縦は前に重なるように配置）をしてある			
					◎	126	受検者の座席は番号順に指定されている			
		該		【リスニング試験がある場合】	◎	127	リスニング試験がある場合、放送設備等の性能による座席の不平等感がないようにしてある			
		該		【リスニング試験がある場合】	◎	128	リスニング機器持込の場合、その性能による座席の不平等感がないようにしてある			
		該		【リスニング試験がある場合】	△	129	機器を接続する場合、コンセントは使いやすい場所にあることを確認してある			
		該		【面接試験を実施する場合】	○	130	面接試験の場合、面接試験教室が適切に設置できることを確認している			
		該		【面接試験を実施する場合】	○	131	面接試験の場合、受検者の待機席が適切に設営できることを確認している			
		該		【面接試験を実施する場合】	◎	132	面接試験の場合、面接室の音が受検者の待機席に聞こえないことを事前に確認している			
		該		【障害者への特別措置を設ける場合】	◎	133	障害のある受検者に対してマニュアルで対応策が示され、試験運営がその指示通りに行われている			
		④ 受付業務				◎	134	本人確認のための受検者リスト等の準備をしてある		
					○	135	受付業務がマニュアルのタイムテーブル通りに行われている			
					◎	136	受検票や本人確認書類が写真貼付等となっており、それを活用して受付で厳密な本人確認をしている			
			該	【集合時間帯が異なる試験がある場合】	○	137	集合時間帯が異なる試験の場合、集合時間帯で仕分けられた順番通りに受付業務を行っている			
			該	【集合時間帯が異なる試験がある場合】	◎	138	試験時間帯が異なる場合、問題の切り替えの時間と連動した受付業務を間違いなく行っている			
			該	【受検生に児童・生徒が多い場合】	○	139	シール等を活用して、受検者と保護者の見分けが適切に行われている			
					◎	140	本人確認書類不備の場合の対応がマニュアルに記載されており、その通りに対応している			
					○	141	集合時間に遅れた受検者への対応がマニュアルに規定されており、その規定通りに行われている			
		⑤ 教室監督業務			◎	142	教室監督者の人数は複数であり、各教室の受検者数に応じて増員し配置されている			
					○	143	試験実施教室内に不適切な掲示物は取り除かれている			
			該	【リスニング試験がある場合】	○	144	リスニング試験がある場合には、試験実施前の段階で試験実施教室の前列と後列で音量の確認をしている			
					◎	145	受検上の注意事項が口頭ではなく、文書の配布等によって受検者全員に徹底され、当該教室で実施している試験の種類と試験時間等の重要事項は大きく板書または掲入室から試験開始までの指示がマニュアル通りに行われ、タイムテーブル通りに業務を遂行している			
					○	146	受検者への試験開始の合図は時間通りに行われている			
					◎	147	受検者への試験終了の合図は時間通りに行われている			
					○	148	受付とのダブルチェックを行うため、受検者が入室する際に教室前で本人確認をしている			
					◎	149	試験中、教室監督者が受検者の確認が出来るように、受検者の机上（監督者巡回の際見える位置）に写真付受検票・本人確認書類等を置かせている			
					◎	150	試験中、マニュアル通りに不正行為の防止に努めている			
					○	151	終了後の回収物（解答用紙・問題用紙等）は受検者本人から直接受け取っている			
					○	152	ミスを防ぐために、教室で受けた受検者数と回収物の数の一致を一度だけでなく複数回確認している			
					◎	153	受検者解散の合図は受検者数と回収物の数の一致を確認してから行っている			
					○	154	受検者が教室退出する際の注意事項（他の教室への騒音配慮、会場からの速やかな退出など）を漏れなく伝えている			
					△	155	受検者の忘れ物有無の確認をしている			
					◎	156	確認した解答用紙等回収物は封印して収納できる封筒等に入れて本部に戻している			
			該	【集合時間帯が異なる試験がある場合】	◎	157	試験時間帯が異なる場合、問題等の切り替え時とともに、受検者の入れ替えは問題等が漏れることがないよう規則通りに行われている			

事前審査シート

大項目	中項目	該当項目	重要度	番号	小項目	対応状況	根拠資料	適否判定	
	⑥ 終了後の業務	該 【面接試験を実施する場合】	◎	159	面接試験の場合、面接終了後に採点用紙等への記入漏れが無いことの確認を担当面接官と行っている				
		該 【別の種類の試験を同じ会場で実施する場合】	△	160	他教室で別の種類の試験が行われている場合、その試験実施の障害にならないように受験者を誘導している				
			◎	161	実施責任者と実施責任者補佐は全ての教室から集められた解答用紙等回収物の総数確認とチェック項目に漏れない事の確認を行っている				
		該 【回収業者に解答用紙等を引き渡す場合】	○	162	解答用紙等を回収業者に引き渡す場合は契約業者であることの確認をした上で、梱包箱数の確認をし授受票を作成している。				
			○	163	試験会場の現状復帰が条件の場合は、現状復帰したことを実施責任者と実施責任者補佐が確認している				
			△	164	業務終了後のスタッフ解散前に実施責任者が中心となり本日の振り返り、確認を行っている				
			△	165	貸与された会場の担当者に会場備品等の破損や紛失が無い事を確認している				
			△	166	貸与された会場の担当者に試験実施が無事に終了したことを報告している				
			該 【同じ会場で次の試験実施が予定されている場合】	△	167	貸与してくれた会場の担当者に次回確保のための借用日程・条件等の交渉を行っている			
					◎	168	全国の試験会場から予定通りに回収物の回収が行われている		
VIII 試験実施後	① 借用会場への報告		◎	169	採点業務が予定通りに行われている				
		該	◎	170	受検者・受検団体に対して、試験結果の閲覧・送付が予定通りに行われている				
	② 採点業務と合否結果通知		◎	171	試験結果の外部からの問い合わせに電話・メール等で適切に対応出来ている				
			○						